

「昨日できたのに、、、なぜ今日はできないの?」と感じている方々へ

片麻痺の運動機能改善のために 適切な運動課題の選択と適切な課題 難易度の設定

講師 山本泰三
スターティングアゲイン 代表
専門理学療法士（神経系・基礎系・運動器系）

本研修会では、言語指示を極力減らし、体が反応しやすい運動課題を選択し、効果的な難易度を設定する運動療法を研修していただこうと考えています。
実施している時間内に即時的効果を起こし、翌日にも変化が継続しやすい運動療法を実施できる理論と技術を紹介します。

1. 体幹機能を改善させ随意性やバランス能力を向上させる方法
2. 歩行速度をアップし、6分間歩行距離を延長させる方法
3. 動作歩行を変化させ生活に使える能力を目指す運動療法
 - ①適切な課題を選択する
 - ・ 運動学習理論
 - ・ アフォーダンス
 - ・ 一般化運動プログラム
 - ・ 半球間抑制
 - ②適切な難易度を設定する
 - ・ 難易度を調整するシンプルで具体的手段
 - ・ 段階的に動作歩行練習を設定する意義
 - ・ 適切な難易度を確認する方法

会場：貴施設、または、ZOOM（弊社よりURL提供できます）

時間：現地5時間、ZOOM4時間、ZOOM2時間×2回、
ZOOM2時間＋現地実技3時間など相談に応じます。

費用：お問い合わせください。

問合せ：スターティングアゲインのHPよりお願いします。